

2025年度山梨学院短期大学免許法認定講習

シラバス			
講習名	保育内容特論（健康）		
講習期間	8月4日（月）～8月5日（火）	単位数	1単位
会場	山梨学院短期大学	受講定員	10名
担当講師	今井 茂樹（保育科准教授）		
講義概要	保育内容特論（健康）においては、子どもの健康安全を把握するための具体的方法、子どもの体を使った遊びの種類や方法、睡眠・食事をはじめとする子どもの健康に関わる習慣の形成、子どもが事故や危険から身を守るために必要な安全への意識や行動の育成などについて講習をおこなう。		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康安全の現状と課題について理解する。 ・子どもの運動遊びの種類や方法について理解する。 ・子どもの健康習慣や安全生活の育成について理解する。 		
タイムテーブル			
8月4日（月）			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	健康安全に関する現代的課題及び、領域「健康」のねらいと内容	子どもの健康安全に関する現代的課題及び、領域「健康」のねらいについて理解する。
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	子どもの基本的な生活習慣の形成	子どもの基本的な生活習慣形成のための支援の方法について理解する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	子どもの健康・安全指導	子どもの健康・安全指導の進め方について理解する。
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	健康管理と安全能力を育む指導法と留意点	健康管理と安全を育む指導法と留意点について理解する。
～～～ 第2日目は次項 ～～～			

8月5日(火)			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
5	9:00~10:30 (90分)	多様な動きの経験と心の発達を支える運動遊び	多様な動きの経験と心の発達を支える運動遊びの展開や留意点について理解する。
	10:30~10:40	休憩	
6	10:40~12:10 (90分)	運動発達を踏まえた運動遊びの指導法と留意点	運動発達を踏まえた運動遊びの指導法と留意点について理解する。
	12:10~13:00	昼食休憩	
7	13:00~14:30 (90分)	幼保小連携を意識した遊び	子どもの健康を育む幼保小連携を意識した遊びの展開や留意点について理解する。
	14:30~14:40	休憩	
8	14:40~16:10 (90分)	食育に関わる指導法と留意点	食育に関わる指導法と留意点について理解する。
	16:10~16:20	休憩	
	16:20~17:20	試験	
履修上の注意事項等			
運動できる服装、体育館シューズ持参(2日目)			

2025年度山梨学院短期大学免許法認定講習

シラバス			
講 習 名	保育学特論		
講 習 期 間	8月7日(木)～8月8日(金)	単 位 数	1単位
会 場	山梨学院短期大学	受講定員	10名
担 当 講 師	末岡 尚文(保育科講師)		
講 義 概 要	本講義では、保育学をはじめとする学術的知見について学ぶことを通して、今日の保育・保育者が直面している社会的な課題についての理解を深めるとともに、保育に関わる理論・思想・歴史等が実際の保育実践とどのように関わり影響しているかを探究することを目的とする。		
学 習 の 目 標	1. 保育学及びその他の諸学問に関する学術的知見を学ぶことを通して、自らの保育観を見直し、自身の目指すべき保育者像や実践と結びついた保育の目標を構想する。 2. 保育理論・保育思想の意義や特徴を理解するとともに、それらをもとに、現代の保育や子育て支援に関わる取り組みの課題について考察する。 3. 保育の歴史的展開を理解し、現在の保育制度や実践がどのような背景のもとで成立しているかを考察するとともに、今後の保育のあり方について検討する。		
タイムテーブル			
8月7日(木)			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	イントロダクション／保育に関する近年の社会状況	本講義の目標や進め方について確認するとともに、保育に関する近年の社会状況や問題(保育士による虐待・「不適切な保育」など)について学びを深める。
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	「子どもの権利」と保育	保育学等における「子どもの権利」の位置づけや、今日の保育制度・実践等との結びつきを考察する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	西欧の保育思想と日本への影響	西欧の保育思想の持つ学術的意義を確認するとともに、種々の思想が日本の保育に与えた影響について検討する。
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	「子ども理解」と発達論	「子ども理解」の意義や課題を確認するとともに、保育における「発達」論との結びつきについて考察する。
～～～ 第2日目は次項 ～～～			

8月8日(金)			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
5	9:00~10:30 (90分)	日本保育史から見る今日の保育の課題	日本の保育の歴史と今日の保育とのつながりを検討し、現代社会において保育者や子ども・保護者が直面する課題について考察する。
	10:30~10:40	休憩	
6	10:40~12:10 (90分)	保育に対する社会的ニーズの広がり と多様な保育の展開	戦後日本における多様な保育の展開の過程を確認し、保育に対する社会的ニーズの変化について学びを深める。
	12:10~13:00	昼食休憩	
7	13:00~14:30 (90分)	子どもの遊びと保育環境	保育における子どもの遊びが持つ意味や、社会環境をはじめとする保育の環境とのつながりについて、学術的知見を踏まえながら考察する。
	14:30~14:40	休憩	
8	14:40~16:10 (90分)	インクルーシブ保育の意義と課題	障害児保育・インクルーシブ保育の歴史的展開を踏まえ、今日の保育・保育者が乗り越えるべき課題について検討する。
レポート課題提出(8月25日(月)まで)			
履修上の注意事項等			

2025年度山梨学院短期大学免許法認定講習

シラバス			
講習名	子どもと言葉特論		
講習期間	8月19日(火)～8月20日(水)	単位数	1単位
会場	山梨学院短期大学	受講定員	10名
担当講師	佐藤 喜美子 (保育科教授)		
講義概要	子どもの言葉の発達について理解を深め、子どもの言葉を育てる為の知識や方法や技能を身に付けて、とりわけ言葉に対する感覚を豊かにする為のいろいろな手法を演習し、幼児の思考力 判断力 表現力を養う方策を身に付ける。		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの言葉の発達過程、言葉の意義、言葉の機能の理解 ・よりよい言葉掛けの理解 ・絵本を活用し、想像力や思考力、また語彙を豊かにする実践の理解 ・様々な言葉遊びを通して、言葉に対する感覚を豊にする実践の理解 ・対話する保育について考える 		
タイムテーブル			
8月19日(火)			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	子どもの言葉の発達について	子どもにとっての言葉と、その発達に関わる先生の役割を考える
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	よりよい言葉掛けと支援の方法を考える	相互に日常のエピソード記憶を交流 よりよい言葉掛けについて話し合う
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	様々な言葉遊びの理解(その1)	色々な絵本を活用して遊びを考える
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	様々な言葉遊びの構想(その2)	色々な絵本を活用して遊びを考える
～～～ 第2日目は次項 ～～～			

8月20日(水)			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
5	9:00~10:30 (90分)	1回目に考えた言葉遊びの実践	言葉遊びの演習
	10:30~10:40	休憩	
6	10:40~12:10 (90分)	先生の話し方と絵本の読み方を学ぶ	よりよい話し方、読み方を知る
	12:10~13:00	昼食休憩	
7	13:00~14:30 (90分)	絵本の読み語りを実践する	相互に読み語りを聞き合って演習
	14:30~14:40	休憩	
8	14:40~16:10 (90分)	対話する保育を目指す	幼児の日常の場面を想定して、子と輪になっての話し合いを構想する
	16:10~16:20	休憩	
	16:20~17:20	試験	
履修上の注意事項等			
<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み方指導で、谷川俊太郎訳の「スイミー ちいさなかしいさかなのはなし」を使います ・幼児の反応がよかったと感じている「絵本」がありましたら、持参してください。 			